

## ものづくりの新たな拠点が誕生 町内に鞆工房がオープン！

6月24日、地域おこし協力隊で鞆職人の片岡美菜さんが野沢本町に鞆工房「やまあみ鞆製作所」をオープンしました。

片岡さんは昨年8月に移住して以降、協力隊として活動しながら、工房の整備など行ってきました。今後は、古布やイノシシなどの害獣の皮を活用して鞆などの革製品の製作に取り組んでいくほか、革製品作りを体験するワークショップなども開催していく予定です。詳しくは右記QRコードからホームページを確認ください。



## 漉いた和紙は卒業証書に 西高の地域探求授業で和紙作り

西会津高校の3年生が地域おこし協力隊の滝澤徹也さんの工房を訪れ、出ヶ原和紙の歴史について学習しました。説明を聞いた後は実際に和紙の原料である楮から皮を剥ぎ取り、ちりなどを除く工程を体験し、最後に一人ずつ和紙を漉き上げました。乾燥した和紙を手にした生徒は満足した表情を見せていました。完成した和紙は、来年3月の卒業式で渡される卒業証書の台紙になります。

## 西中生と芸術家の交流を生む アーティスト・イン・スクールが始まっています

地域おこし協力隊の西尾佳那さんと町出身で俳優の星善之さんが中心となり、「アーティスト・イン・スクール」の取り組みを西会津中学校で本年度から行っています。これは、町内を訪れているアーティストが学校に出向き、ワークショップや作品の公開制作・展示などを行うことで、生徒との交流や生徒がアートに触れる機会を提供する取り組みです。

現在は新型コロナウイルス感染症対策のため、校内での制作活動などを自粛していますが、作品の展示を通して西中生の皆さんが芸術に触れる機会をつくり出す活動が西尾さんらによって少しずつ進められています。



▲ 作品の展示について、学校側と打ち合わせをしている様子



## 放課後子ども教室 第1回休日活動 田んぼの生き物を探そう！

7月3日、放課後や休日に西会津小学校の児童たちがさまざまな体験活動を行う「放課後子ども教室」の第1回休日活動が野沢・安座地区で行われ、児童や保護者ら25人が参加しました。昨年に引き続き、JA会津よつば青年連盟西会津支部の皆さんの協力の下、一緒に田んぼの生き物を調査し、米作りや自然環境などについて学習しました。

児童たちは実際に田んぼに入り、泥の感触を楽しみながら、夢中になって水面をのぞき込み生き物を探していました。泥だらけになりながら、オタマジャクシやアメンボ、ヤゴなどを見つけ、捕まえた生き物たちを図鑑で調べて記録しました。

調査後は安座集会所に移動し、見つけた生き物をそれぞれ発表したり、同西会津支部の星敬介さんを講師に田んぼの役割を学んだりして理解を深めました。



## 山の神を音楽や舞で表現 草木をまとして山のかみさま

大山祇神社の神楽殿で6月19日、草木をまとい、大山祇神社に祀られている神や神話を表現する「草木をまとして山のかみさま」が2年ぶりに開催されました。このイベントは西会津国際芸術村を中心に、有志によって行われており、神楽殿で披露された音楽や舞と草木をまとった人々により繰り広げられる幻想的な世界は、観覧者の皆さんを魅了していました。

